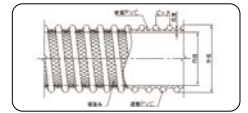


## 吸水・排水用サクシオンホース



### GSパワーラインOM型

吸水用 排水用

- 特長
- 補強糸入りで耐圧性能に優れています。
  - 軟質部が透明で内部流体の確認ができます。
  - 外面凹凸(内面平滑)で柔軟性に優れています。

- 用途
- デリバリー・サクシオン兼用  
農・漁業用吸送水、土木用吸送水

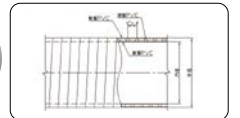
※常温直管状態において許容できる最大圧力であり、金具・バンドの組み合わせや常温以上で使用する場合など条件によって許容圧力は低下します。

呼称	内径 m/m	外径 m/m	肉厚 mm	ピッチ mm	標準重量 g/m	許容圧力 <sup>※</sup> MPa	破裂圧力 MPa	最小曲半径 mm	定尺 m
25	25.4	34.2	1.5	7.5	340	0.49	1.5	70.0	20・50
32	31.8	41.6	1.7	8.5	450	0.49	1.5	90.0	20・50
38	38.1	48.7	1.9	10.0	580	0.49	1.5	140.0	20・50
50	50.8	63.4	2.4	12.0	900	0.49	1.5	200.0	20・50
65	63.5	77.9	2.6	14.0	1,240	0.49	1.5	250.0	20・50
75	76.2	93.2	3.0	16.0	1,790	0.49	1.5	370.0	20・50
100	101.1	119.0	3.7	16.5	2,450	0.49	1.5	550.0	20・50
125	126.0	152.0	4.8	22.0	4,100	0.49	1.5	650.0	20
150	152.4	185.0	5.3	22.0	6,500	0.49	1.5	800.0	20
200	203.4	242.0	5.5	28.0	9,100	0.34	1.2	1,500.0	20

## 排水・送排気用ホース

### エレハントホースW型(受注生産品)

排水用 送排気用



エレハント・ダブル フレキシブルパイプ

- 特長
- 新幹線、JR在来線高架橋、及び幹線道路高架橋の排水用パイプで永年の実績があります。
  - 二重構造で保温性能があり、氷結によるパイプの割れを防止します。
  - 二重構造で消音効果があり、屋内配管に効果的です。
  - 軽量で曲げやすくフレキシブル性に優れます。



エレハントW専用取付金具  
溶融亜鉛メッキHDZ-35以上

- 用途
- 高架橋、橋梁、排水樋等の屋外配管用  
マンション、保冷倉庫等の屋内配管用

※常温直管状態において許容できる最大圧力であり、金具・バンドの組み合わせや常温以上で使用する場合など条件によって許容圧力は低下します。

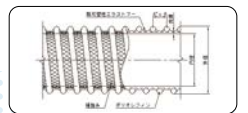
呼称	内径 m/m	外径 m/m	ピッチ mm	標準重量 g/m	許容圧力 <sup>※</sup> MPa	破裂圧力 MPa	最小曲半径 mm	定尺 m
50	50.4	60.2	11.0	760	0.09	0.39	50.0	20・50
65	64.0	75.2	13.0	940	0.09	0.39	70.0	20・40
75	76.5	88.1	14.0	1,140	0.09	0.39	80.0	20・40
100	100.0	113.4	14.4	1,950	0.09	0.39	110.0	10・20・40
125	125.3	139.5	17.0	2,220	0.08	0.34	140.0	10・20
150	149.2	163.8	17.0	3,170	0.07	0.29	165.5	10・20
200	199.0	216.0	19.0	4,080	0.04	0.19	240.0	10・20

注)上記仕様は、予告なしに変更する場合があります。尚、上記以外の寸法についてもご相談に応じます。

## 一般吸水・一般排水・食品用サクシオンホース (受注生産品)

### GSエコーホースPL型

吸水用 排水用 食品用



- 特長
- 焼却処理が可能で焼却時に塩素ガスやダイオキシンなどの有害ガスが発生しません。(非PVC品)
  - 軽量で柔軟性があり取り扱いが容易です。
  - 食品衛生法・食品添加物等の規格基準 昭和34年厚生省告示第370号(改正 平成18年厚生労働省告示第201号)に適合しています。(但し、n-ヘプタンによる溶出試験を除く)
  - 補強糸入りで許容圧力0.49MPaの耐圧性能をもちます。
  - 軟質部は透明で内部流体の確認ができます。

- 用途
- 一般のデリバリー・サクシオン用途  
農・漁業用送吸水、土木用送吸水  
食品用途(但し、油脂及び脂肪性食品には使用できません)  
※8頁に記載の[食品用ホースについての注意事項]をお読み下さい。

呼称	内径 mm	外径 mm	肉厚 mm	ピッチ mm	標準重量 g/m	許容圧力 <sup>※</sup> MPa	破裂圧力 MPa	最小曲半径 mm	定尺 m
25	25.4	34.8	1.6	7.5	330	0.49	1.9	70	20・50
32	31.8	42.4	1.8	8.5	440	0.49	1.7	120	20・50
38	38.1	48.9	1.9	10.0	520	0.49	1.5	140	20・50
50	50.8	64.6	2.6	12.0	890	0.49	1.5	200	20・50
65	63.5	78.9	2.8	14.0	1,200	0.49	1.5	250	20・50
75	76.2	93.4	3.2	16.0	1,630	0.49	1.5	370	20・50
100	101.6	123.0	3.9	16.0	2,400	0.49	1.5	650	20

※常温直管状態において許容できる最大圧力であり、金具・バンドの組み合わせや常温以上で使用する場合など条件によって許容圧力は低下します。

## ご使用にあたって

本カタログに掲載のホースをより安全にご使用いただくために、ご使用前に下記注意事項を必ずお読みいただき、正しい使用方法をお守りください。

各項目の注意事項を守られなかった場合に生じた人的・物的損害について、弊社はその責任を負いかねますので必ず注意事項はお守り下さい。

### 〔ホース選定時の注意事項〕

#### ●流体

- ホース内部の流体により、適切なホースを選定してください。薬品、溶剤、酸、アルカリなど流体の種類によりホースの材質に膨潤や硬化の変化を生じさせるものがあります。耐薬品性データ等でご確認いただき、使用可能な流体につきましてもできるだけ安全率を大きく考慮しご使用下さい。
- 毒性の強い薬品や危険性の高い薬品（高濃度酸、高濃度アルカリ、爆発・引火性ガス等）につきましてはご使用できないものがあります。ご使用前に必ずお問い合わせ願います。

### 〔ホース使用時の注意事項〕

#### ●配管

- ホースの開梱の際は、ホース自体の反撥力により端部の梱包を解いた場合ホースが跳ね返る場合がありますので十分ご注意ください。
- 加圧・減圧によるホースの伸縮があるため、ホース長さは配管距離に対し長めにご使用ください。特にホースをつないでご使用の場合は、末端の接続部と共に中間の接続部にも伸縮による力のかからぬ様ご配慮願います。
- ホースには、梱包状態での巻きぐせがあります。耐圧力の低下を招くおそれがあるため、配管時にねじれを生じない様ご配慮願います。
- ホースは許容曲げ半径以上でお使い下さい。また、ポンプ接続部直後での曲げ使用は耐圧性能の低下の原因となりますのでお避けください。
- 機械の運動、振動部分、または高温となる部分に直接接するような設置はおやめください。また、接触する恐れのある部分は、サポート、当て板等で保護してください。
- 道路、通路等を横切ったの使用はおやめください。仮設によりやむを得ずご使用の場合は、注意喚起の表示をし、車両等による踏みつけ防止の措置を講じてください。
- 垂直部でのご使用は、ホース自重と内部流体の重量が、ホースに直接かからない様に、壁面に固定するか、ロープ、ワイヤーなどをホースに沿わせ、伸びに対する補強の措置を講じてください。
- ホースを水平に吊り下げたのご使用はお避け下さい。ホースの自重と内部流体の重量によりたわみが生じホースを破損する恐れがあります。

#### ●使用中

- 衝撃圧を生じる様な急激なバルブの開閉はおやめください。
- 始動時は、伸縮によるホースの動きがありますので、ホース周辺に人、または倒壊の恐れのある障害物のないことを確認の上、始動してください。
- ホースを引っ張って設備、機械を移動することはおやめ下さい。また設備、機械、車両等を移動する際ホースに直接応力がかかる状態での移動はお避け下さい。

#### ●使用後

- 使用後は、ホース内部の流体を完全に排出してください。
- ホースを巻き取る場合は許容曲げ半径以上でできるだけ大きい曲げ半径で巻き取り、ねじれを生じないようにご注意ください。
- ホースの変形や材質劣化を防ぐため、保管は直射日光を避け風通しの良い平坦な冷暗所とし、高温によるホースの変形にご注意ください。

### 〔保管・運搬時の注意事項〕

#### ●運搬

- 運搬時は地面を引きずらないでください。
- 積み込み、荷下ろしの際は、投げ入れ、投げ落とし等でホースに衝撃を与えないでください。
- フォークリフトによる荷下ろしの際は爪での傷つけない様、十分ご注意ください。
- 吊り下げの場合は、集中荷重によりホースの変形、破損が生じるおそれがあるため、スリング、吊り具による多点吊りとしてください。

#### ●保管

- ホースの変形や材質劣化を防ぐため、保管は直射日光を避け風通しの良い平坦な冷暗所とし、高温によるホースの変形にご注意ください。
- ホースは、積み重ねたり、重量物を上に載せたりすると、荷重により変形します。また、変形による荷崩れの恐れもあるため、十分にご注意ください。

### 〔保守・点検時の注意事項〕

日常の始動前、および運転中に、下記の点について検査を行い、異常がみられた場合は、ただちに新品との交換または異常部分を除去する等の処置をお取りください。

#### ●使用前

- ホース外面に傷、クラック等の異常がないか。
- 硬化・黒化、膨潤等の材質の著しい変化がないか。
- 補強糸のずれ、補強層への浸水、内層の剥離はないか。
- 接続部のゆるみ、抜けはないか。

#### ●使用中

- ホース自体、または接続部からの漏れはないか。
- 運転直後に新たな変形の発生（伸び、膨れ、つぶれ等）はないか。
- 圧力、流量、流体、及び環境温度の異常はないか。

### 〔廃棄上の注意事項〕

- 使用済みのホースは廃棄物処理法および地方自治体の法規に準拠し産業廃棄物として廃棄して下さい。

### 〔食品用ホースについての注意事項〕

食品用ホースについては、上記の注意事項に加え、下記の点にもご留意願います。

- ご使用前に、清浄な水、温水でホース内部を十分に洗浄してからご使用ください。
- ご使用後は、ホース内部の流体を完全に排出し、清浄な水または温水でホースの内部を十分に洗浄し残留物のないようご注意ください。
- ホースは材料特有の臭気があります。ご使用の条件によっては食品に臭気や味の変化を生じる場合がありますので、事前のご確認をお願い致します。
- 本カタログに掲載の食品用樹脂ホース※1は食品衛生法・食品添加物等の規格基準 昭和37年厚生省告示第370号(改正平成18年厚生労働省告示201号)の油脂及び脂肪性食品に対する溶出試験を除く基準に適合しております。
- 油脂及び脂肪性食品や油脂及び脂肪性食品を含有する食品にご使用の場合はお問い合わせ下さい。

※1.ゴムホースの食品用途へのご使用については別途お問い合わせ下さい。

### 〔油脂及び脂肪性食品について〕

「油脂及び脂肪性食品」の定義については、「食品、添加物等の規格基準の一部改訂について」(昭和48年環食化第541号)の記の第2の2に定義されているように「食品中又は食品表面の油脂含量がおおむね20%以上で、乾燥した固形食品以外の食品」であり、例えば、牛脂、植物油、ハム、ベーコン、牛肉、豚肉、チョコレート、ポテトチップス、てんぷら、油揚げ、さつま揚げ、コロッケ、トンカツ、マヨネーズ、ドレッシング、チーズ、バターなどが含まれます。また、「油脂又は脂肪性食品を含有する食品」としては、上記の食品だけでなく、それらを用いた食品、例えば油脂で炒めたり、焼いたり、揚げたり、炒めてから煮た食品、及び脂肪性食品を材料としている食品がすべて含まれます。具体的には、ハンバーグ、ぎょうざ、からあげ、肉団子、カレー、ビーフシチュー、肉じゃが、野菜炒め、きんぴらごぼう、油や油揚げを含む煮物、ポテトサラダ、ドーナツ、ケーキ、クッキー、かりんと、あげせんべいなどが挙げられます。

※2.ここへ記載しているご使用方法はホースの一般的な注意事項であり、ご使用目的の流体や設置・接続方法など用途によってはご使用できない場合がありますので詳細はお問い合わせ下さい。  
※3.本カタログに掲載している「許容圧力」とは常温直管状態において許容できる最大圧力であり、金具・バンドの組み合わせや常温以上で使用する場合など条件によって許容圧力は低下します。

# PVCの耐薬品性

この耐薬品性表は、プレスシートの浸漬試験及び文献を元に作成したものであり、実使用時のデータではありません。温度・圧力・濃度・使用期間等の条件によっては、下記のデータと異なる結果を生じる場合がありますので、参考データとしてご使用して下さい。

**記号の説明**

- ◎ : 優(問題無く使用できます。)
- : 良(幾分影響はありますが、条件により充分使用できます。)
- △ : 可(使用に際して充分な確認が必要です。)
- × : 不可(ご使用には適しません。)

アクリル酸エチル	×	カ性ソーダ(30% 常温)	○	硝酸第二鉄	◎	ひまし油	△
アクリル酸ブチル	×	カ性ソーダ(30% 60℃)	×	硝酸アンモニウム	○	フェノール	×
アクリロニトリル	×	ガソリン	×	硝酸アルミニウム	○	ブタン	○
アセチレン	◎	過マンガン酸カリ(5% 常温)	○	硝酸カルシウム	◎	ブチルアルコール(ブタノール)	×
アセトアミド	△	ぎ酸(25% 常温)	△	硝酸鉛	○	フッ化水素酸(10% 常温)	○
アセトアルデヒド	△	ぎ酸(50% 常温)	×	硝酸ナトリウム	◎	フッ化水素酸(20% 常温)	△
アセトン	×	キシレン	×	硝酸銀	○	フッ化水素酸(40% 常温)	×
アニリン	×	桐油	○	食塩	◎	不凍液	△
アマニ油	△	希硫酸(70%)	×	シリコン油	△	フラン、フルフラン	×
アミルアルコール	△	クエン酸	○	シリコングリース	△	プロパン	◎
亜硫酸(10% 常温)	◎	グリース	×	酢	○	プロピレン	△
亜硫酸ナトリウム	○	グリコールエーテル類	×	水銀	○	フロンガス	×
アルゴンガス	◎	グリセリン	△	水酸化カルシウム	◎	ヘキサン	×
安息香酸ベンジル	○	クレオソート油	×	水酸化バリウム	◎	ヘキシルアルコール	△
アンモニア(無水)	△	クレゾール	△	水酸化マグネシウム	◎	ヘリウムガス	◎
アンモニアガス	△	クロム酸(25% 60℃)	○	水酸化カリウム	◎	ベンジン	○
アンモニア水(28%)	○	クロロホルム	×	水蒸気	×	ベンゼン(ベンゼノール)	×
硫黄	○	クロロスルホン酸	×	水素	◎	ホウ酸	○
イソオクタン	×	クロロトルエン	×	スチレン	×	ホルムアルデヒド(ホルマリン)	○
イソプロピルアルコール	×	ケトン	×	ステアリン酸	○	水	◎
液化石油ガスLPG	△	ケロシン	△	青酸カリ	◎	明ばん	◎
液体塩素	×	鉱物油	△	石鹼水	◎	無水酢酸	×
液体アンモニア	○	酢酸ニッケル	○	セロソルブ	×	メタクリル酸メチル	×
エチルアルコール(エタノール)	×	酢酸アルミニウム	◎	タービン油	×	メタンガス	◎
エチレンジオール	×	酢酸(10% 常温)	○	タール	×	メチルアルコール	×
塩化亜鉛	◎	酢酸(50% 常温)	×	大豆油	△	メチルエチルケトン(MEK)	×
塩化チオニル	×	酢酸カルシウム	◎	炭酸	○	メチルイソブチルケトン(MIBK)	×
塩化カリウム	◎	酢酸亜鉛	◎	炭酸アンモニウム	◎	メチレンクロライド	×
塩化ニッケル	◎	酢酸鉛	○	炭酸ガス	◎	モノクロロベンゼン	×
塩化第二水銀	○	作動油	×	炭酸ナトリウム	◎	モノクロル酢酸	△
塩化マグネシウム	◎	サリチル酸	◎	チオ硫酸ナトリウム	◎	やし油	△
塩化第二鉄	◎	酸素	◎	窒素	◎	ラード	△
塩化第二銅	○	次亜塩素酸	○	窒素ガス	◎	ラッカー	×
塩化カルシウム	◎	次亜塩素酸ナトリウム(5% 20℃)	○	チレピン油	○	硫化亜鉛	◎
塩化バリウム	◎	次亜塩素酸ナトリウム(5% 60℃)	△	テトラヒドロフラン(THF)	×	硫化カルシウム	◎
塩化アンモニウム	◎	シアン化水素酸	○	天然ガス	◎	硫化水素	○
塩化アルミニウム	○	シアン化ナトリウム	◎	トウモロコシ油	△	硫化バリウム	○
塩酸(20% 常温)	○	ジブチルエーテル	×	トリクロルエチレン(トリクレン)	×	硫酸(10% 常温)	◎
塩酸(33% 常温)	△	四塩化炭素	×	トルエン	×	硫酸(30% 常温)	○
塩素化溶剤	×	シクロヘキサノン(アノン)	×	ナフタリン	△	硫酸第二鉄	○
塩素ガス(乾)	△	臭化水素酸(20% 常温)	○△	ナフテン酸	○	硫酸マグネシウム	◎
王水	×	臭化水素酸(20% 60℃)	△	二酸化メチレン	×	硫酸ニッケル	◎
オゾン	○	臭化水素酸(37% 常温)	×	二酸化エチレン	×	硫酸カリウム	◎
オゾンガス	◎	しゅう酸	○	乳酸	○	硫酸アルミニウム	◎
オリブ油	△	重クロム酸カリウム	◎	二硫化炭素	×	硫酸アンモニウム	◎
過塩素酸	○	潤滑油	△	ハイドロキノン	○	硫酸バリウム	◎
過酸化ナトリウム	○	硝酸(10% 常温)	○	パイロ油	×	りんご酸	○
過酸化水素(30% 常温)	○	硝酸(30% 常温)	△	ひ酸	○	りん酸(50% 常温)	◎
過酸化水素(5% 50℃)	○	硝酸(61.3% 常温)	×			りん酸(75% 常温)	○

ホース事業

コーティング事業

シート事業

健康関連事業